

志津まちづくり通信

第24号

発行：平成30年3月1日
志津まちづくり協議会
(志津まちづくりセンター内)
〒525-0041
草津市青地町561番地
TEL・FAX 077-562-0047
HP:<http://kusatsu.or.jp/machikyoushizu/>

志津学区人口13,282人 男6,855人 女6,427人 (平成30年1月31日現在)

「志津学区自主防災研修会」を開催!(防災・防犯・交通部)

1月20日(土)志津まちづくりセンターにおいて、町内会・自治会、志津小学校、南消防署、消防団第2分団、市危機管理課、防災士など60名余りの参加者により、災害防災に係る対策や基本的な知識を得る機会として「志津学区自主防災研修会」を開催しました。被災した混乱の中で自分自身、何ができるかなど日頃から訓練を通して体験することの大切さを学びました。

(防災・防犯・交通部長:奥村 憲一)

「S・M・T 絶対絶命キャンプ」体験発表



地元の子どもたちは、防災学習に取り組んだ夏休み防災キャンプに参加し、そこで学んで得た体験の発表がありました。



立命館大学生命科学部4回生の
上田隼也さん

熊本地震で震度7を記録した益城町出身の上田さんから、実家倒壊の体験から貴重な話をいただきました。震災はいつ、どこで起こるかわからないため、日頃からの準備が大切であることを痛感しました。上田さんの言葉「今日は人の上、明日は我が身の上」が心に残りました。



HUG訓練を前に藤野校長による広域避難所
(志津小学校)の校舎説明がありました。

HUG訓練

災害が発生した時、次々避難所にやって来る避難者の状況や要望を配慮しながら、迅速かつ適切に対応するにはどうしたらよいかなど、参加者は時間の経つのも忘れて熱心に意見を出し合い、訓練体験をしました。



◎地域環境美化活動

一人一人の心のマナーで美しいまち ～ポイ捨て0のまち～

志津

人権総括研修会でモデル町「上尾町内会」が発表

2月6日(火)志津まちづくりセンターで、平成29年度志津人権教育推進協議会の「総括研修会」を開催しました。内容は、①各町内・自治会での学習懇談会の報告です。「人権学習を行ったことで、家族や職場で思いやりの心や言葉を伝えることの大切さを知った。」等の感想や「推進委員会のご協力のもと、昨年より2割強の参加者が増え、より多くの人に人権学習をしていただけた」等の声が寄せられました。

②モデル町である上尾町内会の報告です。今まで役員だけで研修を実施していましたが、「敬老のつどい」の中で人権講座を取り入れるといった工夫をした結果、参加者も増え充実した研修会を開催することができました。



(志津人権教育推進協議会会長 鈴木 登)

第2回人権講座 人権コンサート 歩°歩° ~感じてください差別をなくすために~

2月6日(火)志津まちづくりセンターで、志津人権教育推進協議会、志津まちづくりセンター、志津小学校PTAの三者共催で、第2回人権講座を開催しました。

講師に歩°歩°さん(草津市同和教育啓発講師団)を迎え「感じてください、差別をなくすために」と題して、人権コンサート&トークを交えての講演でした。素敵な歌声とともに、差別のない世の中にしていきたいと思いを込めたオリジナル曲を聞き、差別は私たちのまわりで今なお現実に起きていることを知りました。そして、みんなが幸せに暮らせるために、私たちにできることは何かを考え、一人ひとりが認め合い、支え合い正しい人権感覚を身につけることが大切だと痛感しました。



(志津小学校PTA人権部長 米良 翔子)

第38回志津体振主催「元旦マラソン」盛大に開催!

1月1日午前9時より、志津まちづくり協議会の後援を受け「元旦マラソン」を実施しました。

当日は、学区内の幼児から70歳代の健脚、約50人がスタートラインに集まり、1.6kmと3.1kmのコースを一部、二部ともに男・女が寒風の中、全員完走されました。今後も、志津体振は学区民の健康づくりに寄与するための活動を実施いたします。

(体育振興会会長：竹村 勇)



新春「書き初め大会」 新年への気持ちを込めて

学区子ども会では、1月6日(土)に書き初め大会を志津まちづくりセンターにて開催しました。小学1年生～6年生の子どもたち27人が参加し、講師の先生の指導のもと、新年への気持ちを込めて、一字一字丁寧に書きあげました。

元気いっぱいの子どもの書き初めは、まちづくりセンターに展示しました。子ども会では、4年生～6年生を対象にしたジュニアリーダー養成講座、6年生の思い出の集いも開催します。関心をお持ちの小学生の皆さんは、是非参加してください。

(子ども会指導者連絡協議会会長：山本 麻衣子)



「第50回全国優良図書グループ表彰」 受賞されました!

草津市立図書館から、「あゆみ読書会」の活動内容を東京の全国読推協へ出してみないかと連絡をいただき、会員7名で相談の結果、記念にもなると、応募することにしました。あゆみ読書会は昭和54年に志津小PTA活動の一環として発足し、今年で39年目です。昭和60年から会場に志津公民館(現在まちづくりセンター)を借りて以来、センターは私達あゆみ読書会の依り所です。

読書会で読んだ本は400冊を超えます。東京から市立図書館を通じ受賞の報告を受け、市立副図書館長さんから全員揃って賞状と記念品をいただきました。

この会は、感動を共にする仲間とのあゆみそのものであり、誇りでもあり宝物です。センターという地域でのご縁を大切に、今後もゆっくり、ゆっくりと歩みが続けていきたいと思っています。

(あゆみ読書会 代表：井上 捷子)



「しめ縄づくりに挑戦！」

昨年12月9日(土)午前9時より、「しめ縄づくり講座」を開講し、講師に高岡實さんをお願いして、13名が受講しました。しめ縄について講師の話を聞いた後、それぞれが縄づくりに取り組みました。

毎年受講されている方もおられましたが、ほとんどの方が初めての中、なかなか思うように縄がなえず、苦戦されていました。講師に助言、修正をしていただき、約2時間で全員、自分のしめ縄ができました。出来あがったしめ縄は互いに持ち帰り、玄関に飾って新年を迎えていただいたことと思います。

(事務局:井上 教真)



「寄せ植え講座」を開講しました!

昨年12月22日(金)志津まちづくりセンターにおいて草津園芸より木村沙織さんを講師に迎え、寄せ植え講座を開講しました。

寄せ植えの知識だけではなく、植物の育ち方、育て方を教わり、受講者から「え～そうなんや」「知らなかった」「この年で初めて知った」「いい話が聞けた」という声があちらこちらで飛びかっていた。日々自宅で植物を育てておられる受講者が多い中、知らなかったことが多々あることなど学ぶ機会となりました。受講者は出来上がった作品に、みなさん満足だったようです。

(事務局:山本 美由紀)



第6回一般教養講座(志津やすらぎ学級) 「手話ダンス」AI・AI講師に!

昨年12月15日(金)に「志津やすらぎ学級」を開講しました。第6回一般教養講座は、「AI・AI」さんを講師に招き、日常生活に関する簡単な手話や、手話ダンス(歌に合わせて歌詞を手話)を教えていただきました。

講師の手話を見て、身振り手振りでマネをしたり、2チームに分かれて歌の追いかけっこ勝負に・・・学級生の皆さんは、とても楽しんでおられました。また、講師の中の一人である聴覚障害の方に、耳が聞こえない日常生活や子育てでの大変さについてお話いただき、「私たちに何ができるか」を学び、考える講座でした。

(事務局:山本 美由紀)



戦前・戦後の「志津の原風景や暮らし」を写した

写真を探しています!



当協議会では、ふるさと志津の良さや魅力を再認識しながら、地域住民の交流を図る取り組みとして【志津の歴史入門講座】を開催し、志津の歴史を学んできました。

その中で、このほど「志津の昔の暮らしや原風景」を写した写真を収集することにいたしました。

今から戦前・戦後の志津地域の写真で、各ご家庭の古いアルバムの中から、現在ではもう見られない「昔の暮らし」や「風景」の写真があれば、お持ちいただくか、電話・FAXでご連絡をください。お預かりした写真はコピーをして返却します。皆さまのご協力をよろしくお願いします。

連絡先 志津まちづくり協議会事務局

TEL / FAX 562-0047

第1次募集期間

1月15日(月)～3月31日(土)

【志津ふるさと講座】

(7月～12月開講)

連続
5回講座

志津のよさや魅力を再認識しながら地域住民の交流を図る事業として、【志津ふるさと講座(志津の歴史入門講座)】を開講しました。毎回20数名の歴史好きの皆さんの参加を得て、古くから開けた志津の成り立ちを、「古代」「中世」「近世」「近代」「昭和」と年代を追って学んできました。講話をもとにしながら、講座の後半は地域に詳しい受講者の声も交えて意見交流し、共に志津の歴史の奥深さに触れることができました。

志津には、小槻山公や青地氏の足跡が数多く残り、3・4世代前の先祖が生きていた江戸時代は、今日、志津の地に住まいしている私たちに、しっかりとつながってきています。そして、郷土の先覚者・北川静里先生は、今年150年目にあたる「大政奉還」や「明治維新」という時代の変革期に、「教育者」「静学学者」として、新しい時代を切り拓き活躍されたことなど、「5回の講座」を通して、受講者の皆さんは、ふるさと志津がますます大切に思えるようになりました。私たちは、志津の伝統を受け継ぎ、私たちの手でよりよい志津のまちづくりをしていこうという思いを共有することができました。



(教育・文化部長 寺尾 信一)

認知症セミナー「認知症になっても大丈夫のまちづくり」に学ぶ

昨年度に引き続き本年度は「認知症になっても大丈夫のまちづくり～認知症の人の心を伝える～」と題して、きらめき介護塾の渡辺哲弘さんを迎え開催しました。

平成37年には、平成24年の462万人から約1.5倍の700万に増加すると言われ、65歳以上の5人に1人の割合になると言われます。講演会では認知症を理解することの大切さ、認知症の人への関わり方、どのような生活が望ましいか等を教わりました。

最後に「認知症になることは残念なことかもしれませんが、その人が不幸になるかどうかは周りの人の関わり次第なのです。」「一番大事なことは、あなたの大切な人が認知症になっても、かわらない付き合いを続けていくことなのです。」と教わりました。

身近に起きた場合を考えると簡単ではありませんが、正しい対応を身に付けておくことも重要と感じたセミナーでした。

(福祉部長:服部 孫司)



第17回「草津市こども環境会議」でわんぱく子どもスタッフが発表する!

1月27日(土)志津わんぱく子どもスタッフは、第17回「草津市こども環境会議」に参加しました。志津わんぱく協働合校では、子ども達が自ら考えた企画をもとに事業を進めています。子ども達は年間を通してスタッフとして活動しています。

29年度は、「絶体絶命キャンプ」と題して、地域の企業から段ボールの提供を受け、様々なアイデアを取り入れて宿泊研修をしました。竹や空き缶などを利用してご飯を炊きましたが、火のつけ方、マッチのつけ方も初めての体験。ハイキングでは、避難方法も子どもたちと一緒に考えました。また朝食には、健康推進委員さんの協力により、おにぎりの差し入れもありました。このような活動の成果を、質問形式で取材を受けながら発表する良い機会となりました。

(志津わんぱく協働合校企画委員会 宮城 成和)



平成29年度「健幸のまち志津」事業

～テーマ～

歩く 話す 笑う 食べる やってみる!



◀歩くことが楽しくなる
(12/3)

美しい姿勢→楽しく歩く→実践

▼けん玉広場(1/13)
7回目開催



▼ふれあいカフェ
「ひだまり」(1/20)
青地第二町内会



▼笑い与健康(1/27)
講演「笑いも仕事も健康から」
落語「目指せ!ちよつと岳」



※「テーマ」に沿った様々な講座に、受講生の皆さんから「楽しかった」という多くの声をいただきました。町内会・自治会の催しや団体等にけん玉の貸出しをしています。

問合せ:
志津まちづくり協議会事務局
TEL562-0047
(事務局長:吉田 和子)

